

HSBC ロシア オープン

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第16期 (決算日2023年3月15日)

作成対象期間
(2022年3月16日～2023年3月15日)

第16期末 (2023年3月15日)	
基準価額	873円
純資産総額	387百万円
第16期	
騰落率	△ 16.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC ロシア オープン」は、2023年3月15日に第16期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を通じて、主にロシア連邦(以下、「ロシア」といいます。)の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

◀お問い合わせ先(投信営業本部)▶

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

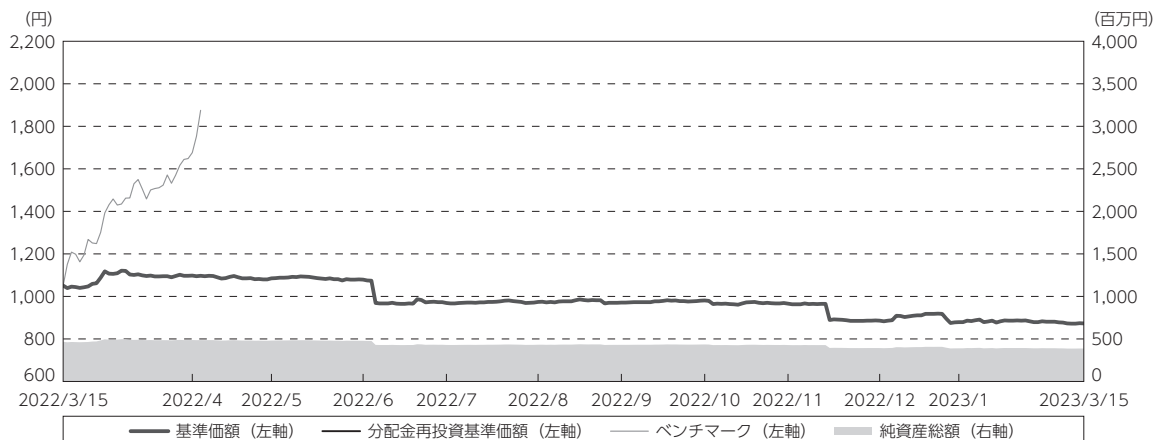
ホームページ: www.assetmanagement.hsbco.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第16期：2022年3月16日～2023年3月15日)



期首：1,051円

期末：873円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 16.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年3月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドは、2022年6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。過去のベンチマークは、MSCIロシア10/40指数(円ベース)です。詳細は12ページの「指数に関して」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

現在、ロシア株式は、同国によるウクライナ侵攻の影響を受けて、総じて取引停止の状態にあります。このような環境下、当社では、下記「ロシア株式の時価評価方法の変更について」に記載の通り、基準価額の評価方法を変更しており、この影響により当ファンドの基準価額は大幅に下落しました。

～ロシア株式の時価評価方法の変更について～

2022年2月28日以降、ロシア株式は軒並み取引停止の状態となりました。こうしたなか、当社では、投資信託協会の規則に従い、可能な限り直近の日の組入銘柄の最終価格を評価額として基準価額の算出を行ってきました。しかし、評価額はほとんどが更新されず、基準価額は実勢を反映しているとは言い難い状況になりました。このような状況が一定期間経過した場合は、運用会社が合理的と判断する評価額を使用可能としている同規則に鑑み、当社では3月14日から、直近の基準価額算出において使用した評価値が、2月28日の基準価額算出において使用した評価値の10%未満となっているものについては、その評価値を使用し、それ以外のものについては、一律2月28日の基準価額算出において使用した評価

値の10%として値付けを行いました。また、3月15日より、継続して取引され実勢を反映していると思われる評価値がある一部の銘柄については、その評価値を採用し、それ以外は評価値を一律ゼロとしました。さらに7月5日から、米国、英国、国連、OFACなどによって制裁対象となったロシア企業の預託証券、ロシアの決定により外国証券取引所からの上場が廃止された預託証券につきまして、評価値をゼロとしました。また、ウクライナ侵攻前に売却した銘柄のうち未収入金となっていたものは11月2日に売買損として計上しました。加えて12月14日から、保有しているロシア企業の預託証券の中で新たに米国、英国、国連、OFACなどによって制裁対象となった銘柄の評価値をゼロとしました。(すべて外貨ベース。基準価額算出における為替レートに関しては通常通り算出日のレートを用いました。)

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	9	0.880	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(-)	(-)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(8)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	17	1.708	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(16)	(1.629)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.033)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(1)	(0.046)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	26	2.588	
期中の平均基準価額は、989円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

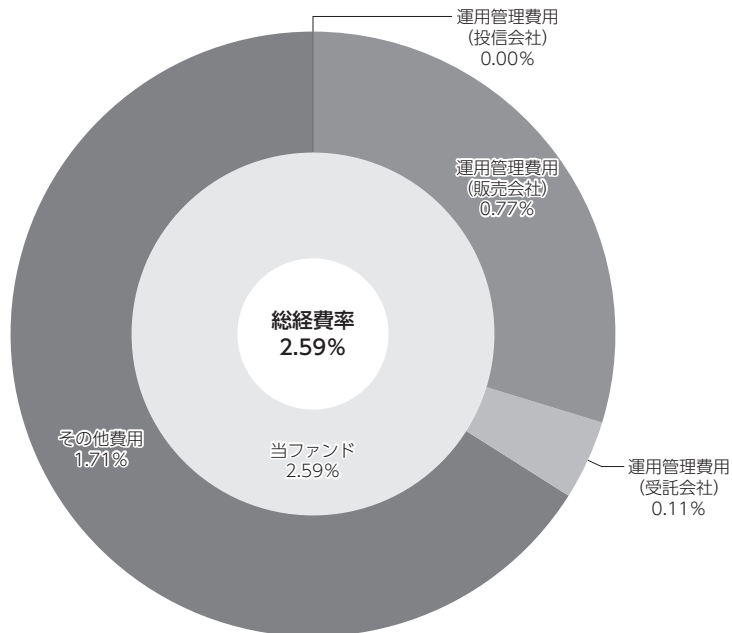
(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.59%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2018年3月15日～2023年3月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、2018年3月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年3月15日 決算日	2019年3月15日 決算日	2020年3月16日 決算日	2021年3月15日 決算日	2022年3月15日 決算日	2023年3月15日 決算日
基準価額 (円)	7,375	7,333	6,038	9,819	1,051	873
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.6	△ 17.7	62.6	△ 89.3	△ 16.9
ベンチマーク騰落率 (%)	—	5.0	△ 17.1	60.1	△ 100.0	—
純資産総額 (百万円)	6,789	5,834	3,958	5,728	466	387

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドは、2022年6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。過去のベンチマークは、MSCIロシア10/40指数(円ベース)です。詳細は12ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

【株式市況】

当期のロシア株式市場は前期末比で2.2%上昇しました。しかしながら2022年2月下旬以降、非居住者による取引については依然困難な状況が継続しました。

【為替相場】

当期のロシアルーブルは対円で前期末比68.0%上昇しました。なお、ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、非居住者による為替取引に関しては引き続き著しく制限されていることから、ロシアルーブルの対円相場は実勢を反映しているとは言い難い状況となりました。

原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

<HSBC ロシア オープン>

「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を通じて、主にロシアの株式などに投資しました。

<HSBC ロシア マザーファンド>

ロシア株式は市場での取引が困難となり、保有株式の売買は行われておりません。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、2022年6月1日付の約款変更でベンチマークを削除したため、期末時点でのベンチマークはありません。詳細は12ページの「指数に関して」をご参照ください。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、分配なしとさせていただきます。
 なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2022年3月16日～ 2023年3月15日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,115

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

今後のロシアの株式市場については、現段階では見通しを予測することが困難な状況です。当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されます。

<HSBC ロシア オープン>

引き続き「HSBC ロシア マザーファンド」への投資を行います。

<HSBC ロシア マザーファンド>

今後、市場の再開などを受けて、適正な価格での売買が可能となり、かつ取引後の資金決済等が滞りなく行われることなどが担保される状態に戻った場合は運用が再開される可能性はありますが、現時点においてその見通しは立っておりません。当面ロシア市場は混乱状態が継続するものと予想されるなか、当社は今後も動向を注視し、当ファンドへの影響についてモニタリングを続けてまいります。

◆お知らせ◆

約款変更について

2022年6月1日付：

ベンチマークを削除する変更を行いました。

2022年6月14日付：

実質的に運用管理費用（信託報酬）を引き下げる約款変更（委託者が受け取る運用管理費用（外部委託報酬を含む）を上限記載に変更）を行いました。

ロシア株式等（ロシア企業が発行する株式（ADR（米国預託証券）、GDR（グローバル預託証券）等を含みます）、以下同じ）の評価について

<財務諸表に計上した金額の算出方法及び財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定>

2022年2月24日（現地時間）以降、ロシアのウクライナ侵攻を受けた米欧の経済制裁やロシアによる対抗措置により、2022年2月28日（現地時間）にロシアの証券取引所は株式取引を停止し、米国市場等の海外市場においてもロシア株式等の流動性が極めて低く、取引することが困難な状態が続いております。また、取引の規制、決済機構やSWIFTからの除外による取引後の受渡が行えない状況となり、ロシア株式等の取引が困難な状態が継続しており、活発な市場における相場価格の取得ができない状況が続いております。よって、親投資信託が保有しているロシア株式等について、ゼロ円で評価しております。

<翌計算期間の財務諸表に与える影響>

当計算期間において、ロシア株式等を上記のように評価しております。しかしながら、ロシアの証券

取引所の再開やロシア株式等の取引の再開等、今後の動向の変化によって翌計算期間の財務諸表に影響を与える可能性があります。

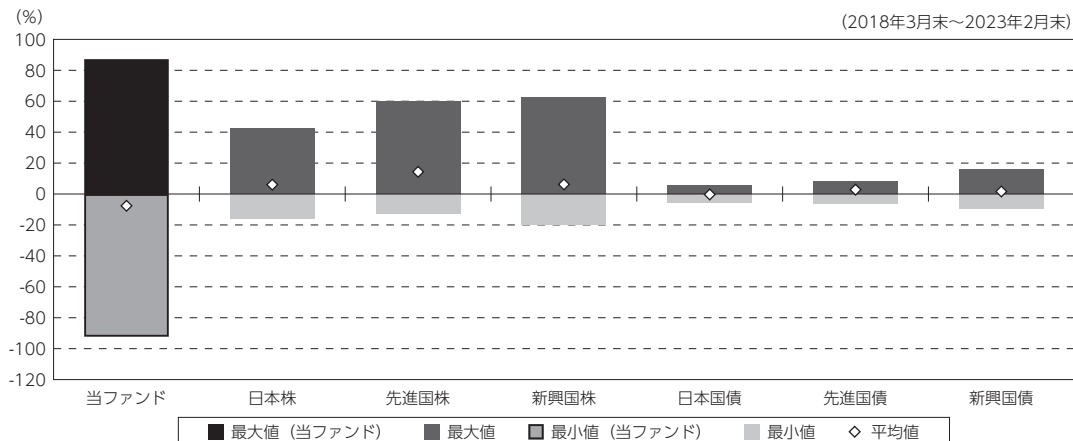
申込受付の停止について

2022年2月24日に発生したロシアのウクライナ侵攻の影響を受けて市場は閉鎖され、取引ができない状態となっております。そのため、3月1日より設定・解約の申込みの受付を停止しております。定時定額による購入（積立）についても3月9日以降受付を停止しております。今後、取引の再開等の状況の変化があれば、設定・解約の申し込み受付を再開する可能性があります。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	HSBC ロシア マザーファンド受益証券への投資を通じて、主にロシアの株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	HSBC ロシア オープン	HSBC ロシア マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	HSBC ロシア マザーファンド	主に、ロシア国内の企業、ロシア経済の発展と成長に関連する、ロシア以外の国の企業が発行する株式等（ADR、GDR等を含みます。）に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年3月15日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	87.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 92.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	△ 7.6	6.1	14.4	6.2	△ 0.3	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年3月から2023年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2023年3月15日現在)

当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

銘 柄 名	第16期末
H S B C ロシア マザーファンド	%
組入銘柄数	100.5
	1銘柄

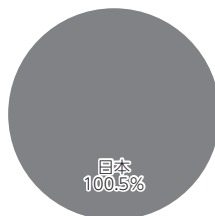
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

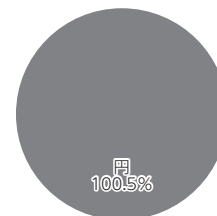
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

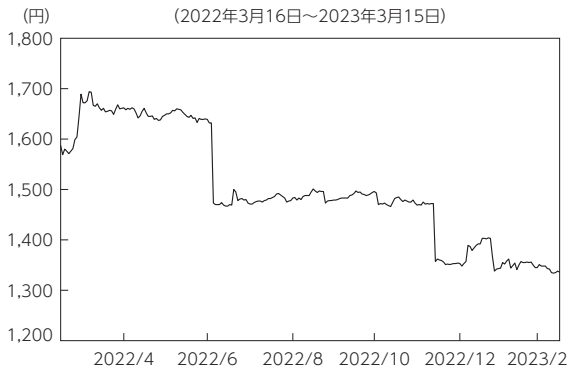
項 目	第16期末
	2023年3月15日
純 資 産 総 額	387,201,276円
受 益 権 総 口 数	4,435,000,064口
1万口当たり基準価額	873円

(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

組入上位ファンドの概要

◆HSBC ロシア マザーファンド (計算期間 2022年3月16日～2023年3月15日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年3月16日～2023年3月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	24	1.627
(保 管 費 用)	(24)	(1.622)
(そ の 他)	(0)	(0.005)
合 計	24	1.627

期中の平均基準価額は、1,505円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

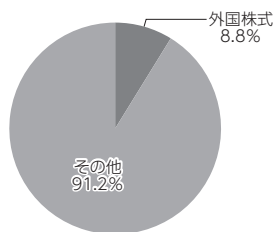
○組入上位10銘柄

(2023年3月15日現在)

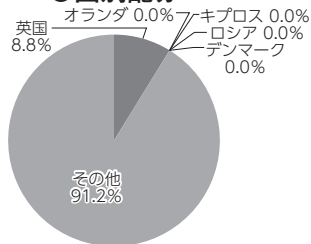
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	POLYMETAL INTERNATIONAL PLC	素材	英ポンド	英国	8.8
2	UNITED CO RUSAL INTERNATIONA	素材	ロシアルーブル	ロシア	0.0
3	OZON HOLDINGS PLC - ADR	小売	ロシアルーブル	キプロス	0.0
4	YANDEX NV-A	ソフトウェア・サービス	ロシアルーブル	オランダ	0.0
5	SEGEZHA GROUP PJSC	素材	ロシアルーブル	ロシア	0.0
6	MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS PJ	各種金融	ロシアルーブル	ロシア	0.0
7	ALROSA PJSC	素材	ロシアルーブル	ロシア	0.0
8	SURGUTNEFTEGAS PJSC (PFD)	エネルギー	ロシアルーブル	ロシア	0.0
9	SURGUTNEFTEGAS PJSC	エネルギー	ロシアルーブル	ロシア	0.0
10	ROSNEFT OIL CO PJSC	エネルギー	ロシアルーブル	ロシア	0.0
	組入銘柄数		27銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

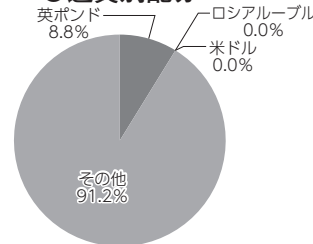
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。
 (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

◆指数に関して◆

＜当ファンドのベンチマークについて＞

2022年5月31日までのベンチマーク(ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標)は、『MSCI ロシア10/40指数(円ベース)』です。MSCI ロシア10/40指数とは、ロシアの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数であるMSCI ロシア指数に対し、投資信託に合わせた調整(一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等)を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI 社(MSCI Inc.)が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI 社に帰属します。また、MSCI 社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用していました。2022年3月9日から、MSCI 社により大幅な評価額の調整が行われた結果、ほぼ0評価となり、また同年5月6日から公表が停止されました。当ファンドは、6月1日付けでベンチマーク削除の約款変更を行いました。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI - KOKUSAI インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。